

町政座談会の総括並びに所信を問う

町民の理解が得られたと思う



宮本 昭一 議員

町政座談会が終了したが、どう総括しているか。また、合併問題、国保税等、町民の理解が得られたと認識しているか。

理解は得られた

町長

後期高齢者医療制度や納税奨励金、合併に関して、質問や要望をいただき、有意義な意見交換ができた。各会場の出席者については認識されたと判断している。国保税率等の現状についても理解いただいたと捉えている。

合併に対する今後の推進は

宮本議員

編入合併への軌道修正について町民の認識が図られたと考えているか。また、今後の推進をどのように考えているか。

新たな説明会の開催は厳しい

町長

現状については、認識していただいたと思う。諸懸案については、説明責任を果たしながら推進する。しっかり説明することが自分の責任であり、公約を踏まえて周知に努めるが、新たな説明会の開催は難しい。推進については、議会の意思決定を得ながら進める。

畜産農家への対応は

宮本議員

配合飼料価格の高騰で、今後の畜産振興をどのように進めるか。

効率的な支援強化に努める

町長

国から新たな支援策が出てくると思っている。大規模経営、効率的な生産方式の支援強化に努める。

町としての支援策は

宮本議員

国にならって、町としての支援策の考えはないか。自給飼料等の確保対策として飼料稲等の作付けや生産組織への補助はできないか。

状況を見て判断

町長

原油高が背景にあるので、状況を見て対策を講じるべきだと判断している。飼料稲については、農協が主体となって生産部会を立ち上げる準備をしている。

繁殖雌牛高齢牛の更新推進は

宮本議員

高齢牛の率を少しでも下げる必要がある。若い牛への更新を図るための指導が必要ではないか。また、繁殖雌牛更新対策事業補助金の見直しをする考えはないか。

農家と連携

町長・農林振興課長

畜産振興協議会を中心に農家と連携しながら更新を促していく。繁殖雌牛更新対策事業については、現時点で補

助金の見直しは考えていない。

今後の管理指導は

宮本議員

小規模飼育農家の経営安定や生産基盤、頭数維持のための管理指導は、どのようにしていく考えか。

関係機関と連携

町長

維持、増頭については、全体的に畜振や農協、農家と連携しながら進めていく。

くの松原の防火対策は

宮本議員

「くの松原」一帯の防火設備の状況とプールの水を消防車で直接取水できるように改修はできないか。

安全面・環境面に配慮

町長

町営プール敷地内に消火用散水口1基と町営プールの貯水を消防水利として使用できる態勢を取っている。直接取水は、安全面・環境面に配慮しながら検討したい。



意見も多数出された(中央公民館)